

五省会ニュース

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省訓

- 1.至誠に悖るなかりしか。
- 1.言行に恥ずるなかりしか。
- 1.氣力に欠くるなかりしか。
- 1.努力に憾みなかりしか。
- 1.不精に亘るなかりしか。

医療の本質見究めよ — 医療側からの提言 —

政府・行政責任と負担を 私的医療機関に転嫁

今日の医療問題はほとんどに医師の「医道」のありかただけに由来するものなからうか。職業倫理にもとる事例はどの世界にも存在する。万引きする警官、被告と交際する裁判官。から出張で浮かした金を浪費する公社社員。無実の人間を殺人犯にでっち上げる検察官。六当五落(何れも単位は億円)は万人が承知しているのに選挙にかかった金は一千万か二千万であり、まずと申告する政治家。政治にもとめとそれほど信頼をおいてきたわけではないけれども、今日の医療問題に対する政治家の発言ほどしらしらしいものはない。私は他人の非をあけて自らを合理化しようとは思わない。ただ私は矛盾と不合理的にみちた保険医療制度の中で、これまた不確実性の多い生命現象をとりあつかわなければならぬという医療の本質的な問題の所在が忘れられて、これを医道の低下にすりかえてマスコラメジカルスタッフの大部をばかきりか、懲罰的な姿勢で権限を行使しようとする政治とマスコミに対する不信といらだちを卒直に表明したいだけである。たとえは救急医療に對してはどれだけのことをなすべきか。精神病患者の何%を公的な施設が受けとめてきたか。医療スタッフ、その中でもとりわけ看護やパラムジカルスタッフの大部分はどこで養成されているか。夜勤看護婦にとつて不可欠な保育所、社会に国はどれだけの配慮をなしてきたか。これらの大部分を国は私的医療機関の責任と負担に転嫁し、しかも何重もの負担の標的にさらし、もつてみずからの行政責任を他に転嫁してはならない」とい



西能病院の訓練は、社会に国はどれだけの配慮をなしてきたか。これらの大部分を国は私的医療機関の責任と負担に転嫁し、しかも何重もの負担の標的にさらし、もつてみずからの行政責任を他に転嫁してはならない」とい

開院十九周年にあたり

西能 正一郎

私は、旧制高岡中学校昭和二十年の卒業生であります。在学中、私たちは学級担任の教師として、金子周造先生に面倒を見てもらいました。先生は富山県の生んだ有数の柔道教師で、おたくになりなるところには講道館八段、柔道師範の称号を授けられた方です。私たち中学生は、金子先生から「自然体」なる言葉をことあることあるに教えられました。当時の私たちに、馬の耳に念仏で、先生の教えの真意を理解できたものがいたかどうか、はなはだ疑問であります。その後三十年余、思い出すこともなく日が過ぎましたが、この年になってみますと、金子先生が教えられた「自然体」なる言葉が、しばしば脳裏によみがえってきて、私を導いてくれます。

「自然体」とは、柔道の基本姿勢、自然体よりきた言葉で、柔道で敵と相対したとき、必殺の気魄を内に満たしながらも、雑念を捨て、勝敗を超越した澄んだ境地に身を置くこと、その状態を云い、諦観、没我、平常心など、と

「自然体」の心を心として、よく似てはいますが、また異なったニュアンスを持っており、ここにあたると私を捨て、己を無にすること、その境地に到達して初めて、状況の変化に即応して自分の力を結集して発揮することができるといふように集まりに理解しております。今年、西能が整形外科医院を開設して十九年の記念月にあたり、十九年の間にいろいろなことがありました。中でも自分の信

西能病院開院十九周年記念号

あすなろ

▼高山の街の冬は冷たい。北海道に匹敵する。しげれる氷点下の寒気が四月まで続く。長いツララの下がる路地を行くと、手がしびれ、重いアコーディオンが落ちそうになる。それでも、流しの演歌師ともなれば酔った人たちの声にも笑って答えてねばならぬ。どなられて外に出て泣きながら立ち尽くしたこともしばしばだった。そんな話を全盲のシンガーソングライター・竜鉄也さんは淡々と語ってくれた。一月富山公演のときのことだ。「奥飛騨慕情」で一躍売れっ子になり、有線放送の新人賞を受けた華々しさはみじんも感じられない。そこにあるのは、ひたすら耐えた人のみがつく底知れぬ冷静さであり強じんさだ。彼の両眼が完全に光を失ったのは二十六歳のとき。両親との離別、孤独と絶望、そして自殺未遂。死ぬことばかり考えて十年を過ごした。根なし草のように漂う希望も何もない人生だった。しかし、その彼を急によりみがえらせたのは歌である。その歌に彼は一生をかけようと決心した。やれば出来る。出来ないといふ心がないから。生きてみせる。演歌を作詞作曲して歌う生活が始まり、それから彼は数々に数年を耐えた。彼は今、日本中をめぐるとともに歩いている。彼は歌うだけで何もいわない。が、沢山の身体の不自由な仲間、無限の激励をこめて、彼は自分の歌で自分の生きざまを見せつける。▼彼はこういふ。「そんな仲間のために何か少しも役立っているという嬉しさ、それは人から与えられる喜び、何百倍、何千倍も勝る喜びであることを知りました」

永年勤続者18氏を表彰

- 三月二十一日 開院十九周年記念式
- 医療法人財団五省会(理事長西能正一郎)は、三月二十一日正午から富山市五福、西能病院四階会議室で、開院十九周年記念式典を行なう。
- 西能病院の基礎となった西能整形外科医院が昭和三十三年三月二十一日、富山市星井町で開設されてから十九年の歳月が流れ、現在は医療法人として職員百十五人を擁する大世帯となった。
- 式典当日は、誓詞斉唱、西能理事長あいさつ、永年勤続者表彰、受彰者代表謝辞、来賓祝辞、祝電披露などがあり、職員一同、地域医療に奉仕する決意を新たにする。表彰される永年勤続者は、つぎのとおり。(敬称略)
- 〔勤続十五年〕(五人) 田中行 久、寺崎民子、津田美智子、井上千恵子、安川みどり、山口明江
 - 〔勤続十年〕(八人) 古井良洋、廣長百合子、木下文雄、杉浦えみ子、五十嵐静子、新井博子、今井礼子
 - 〔勤続五年〕(五人) 金谷智恵子、二口雅子、飛田勉、吉田範子、古井良洋

患者さんからお礼の言葉



時は、あたかも豪雪のおり、西能病院にお世話に相成り、院内の人間生身につきまとう、さまざまな姿、生の患者の沢山のなか、白衣に身を包まれた院長先生の誠心のためであり、治療する患者諸氏は心をうたれ、我々自身は心をあらたにするものです。

私は、豪雪で屋根から踏みはずして足をけがし、入院した身であります。看護婦一人一人にして、可憐な白衣に、さわやかな感情をきりりとえがき、ひきしめ、やわらかな物腰の対話。その中に秘めた優しく尊敬を加療こそ、開病者との人間のつながりが生まれ、励みと希望を増大させられることを現実に見ました。私たちは明日の社会生活にゆう然と立ちむかえる、善を積みあげられる人々に多大な幸せあらんことをお祈り申し上げ、私の全快を心から感謝申し上げます。

魚津市北鬼江 古川 清 末

形成外科について

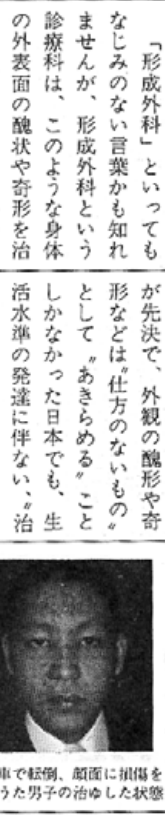
市田正成

「形成外科」といっても女にのみ言葉がけられ、男は形成外科といふことすら知らない。形成外科は、このように身体的な外見の醜状や奇形を治すことを専門とする外科系の一分野である。

日本の医療法で形成外科として正式に認められたのは昭和五十年のことです。昭和五十年以前は形成外科は少数の人々によって行われており、歴史のみにては形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。

形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。

形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。形成外科は、整形外科の一部として扱われていた。



電動ノコギリで手を切断した1才10月の男児の顔に形成外科手術で血管神経を縫合した再建術

健康法の問題(2)

相談相手に家庭医をくすりよりも食養生

矢野三郎

健康法の土台となる第2のポイントは、まず健康診断を受けることである。自分のからだに無関心な人や健康診断を受けるのを嫌がる人は、成人病にかかりやすい。成人病は、自覚症状が少ないから診断しにくい。健康診断を受けることが多く、成人病は、自覚症状が少ないから診断しにくい。健康診断を受けることが多く、成人病は、自覚症状が少ないから診断しにくい。

健康法の土台となる第2のポイントは、まず健康診断を受けることである。自分のからだに無関心な人や健康診断を受けるのを嫌がる人は、成人病にかかりやすい。成人病は、自覚症状が少ないから診断しにくい。健康診断を受けることが多く、成人病は、自覚症状が少ないから診断しにくい。

明日に向かおう

長く広い交流を 政治家に知ってほしい実態

私たちの療友会員は現在十八人(うちケイソン九人)ですが、長い人はもう十年以上、短い方も十人以上、いまのところ、富山労働病院で、院長先生はじめ諸先生方スタッフの二指導を賜っております。

政治家に知ってほしい実態。政治家に知ってほしい実態。政治家に知ってほしい実態。政治家に知ってほしい実態。政治家に知ってほしい実態。

夢と希望を持って働く喜び

志鷹 小三郎

忘れもしない昭和三十七年十月、労災事故で下半身麻痺(背骨損傷)の不幸なからにになりました。ある病院に入院、血のじじいような歩行訓練を毎日繰り返す。ようやく杖を離れ、歩けるようになりました。退院してから西能病院の門を叩きました。



事務所で執務中の志鷹さん

一つ、二個と、出来あがる小鳥籠「努力」の二字を胸に

一つ、二個と、出来あがる小鳥籠「努力」の二字を胸に。一つ、二個と、出来あがる小鳥籠「努力」の二字を胸に。一つ、二個と、出来あがる小鳥籠「努力」の二字を胸に。

多くの困難との闘い

西能先生は、四十年たちました。この「車椅子のみ」を取り組んで、いろいろな記事を書き、取りあげて、一般の人たちには、どれだけの力になってきたか、私には語りきれない。私には語りきれない。私には語りきれない。私には語りきれない。

西能先生は、四十年たちました。この「車椅子のみ」を取り組んで、いろいろな記事を書き、取りあげて、一般の人たちには、どれだけの力になってきたか、私には語りきれない。私には語りきれない。私には語りきれない。私には語りきれない。

美容外科手術

最後に美容外科ですが、二重の手術や隆鼻術、豊胸術は若い人が希望することが多く、骨格や顔の形が、顔や首、背中や腕の脂肪の取り除きや、お肌の若くし、この形を取り戻したいという中年以上の人が希望するものです。

わたしはこう思う

医療訴訟がよえる要と論じてほしいものです。その人の心、安心してもらいたい。病気が時間を経過とまで深く理解できる医師が話せば、納得しても病状を悪くする途中、病状を悪くする途中、病状を悪くする途中、病状を悪くする途中。

医療訴訟がよえる要と論じてほしいものです。その人の心、安心してもらいたい。病気が時間を経過とまで深く理解できる医師が話せば、納得しても病状を悪くする途中、病状を悪くする途中、病状を悪くする途中、病状を悪くする途中。



西能病院 理事長 西能正一郎

心を失い医事紛争

心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。

心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。心をつなぐには、いかに心をつなぐか。

法人化で利益還元

法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。

法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。法人化で利益還元。

わたしはこう思う

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

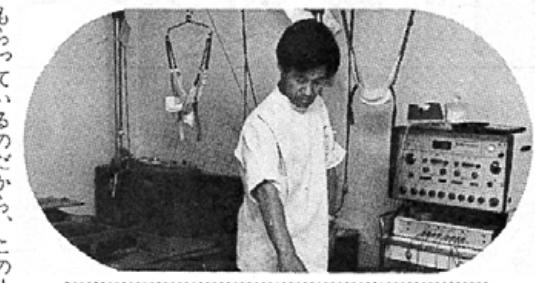
わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。



西能病院の待合ホールにかけられている額、筆者は青柳志郎氏

有意義な人生を 荒井 紀 夫

私の父は37才若くしてこの世と別れをつけた。母とまだ幼な私とを養育して、さぞ心残りであつた。



リハビリテーション治療室の荒井さん

より高度で密度の濃い理学療法をこの仕事を中々何を...

職員だより

西能病院職員相互会は昭和二十七年九月発足、以来十九年間、職員相互の親睦...

親睦、融和をはかる

九月十八日は第四回職員大運動会を運営された。この日は職員家族共々七十人...

冬さし 冬の雷

三八並みの寒雷が降り、大つぶの雷が鳴り、大つぶの雷が鳴り、大つぶの雷が鳴り...

ブリ起し、は北陸の生活に密着

細かな雷が降りしんじんと降る。静かに降り続いた雷が、突然又風が吹いて...

医療のひずみ

すみからすみまで一気に読みかえたい。生き生きとした病院のふんわり手に取る...

あふれる人間味

西能病院では、毎週土曜日に減量指導を始めてから五日目を迎えた。

やせることの難しさ

食欲との葛藤 気をゆるめれば逆もどり。えんえん一ヶ月とかけて目標に...

計画的に実行

数々の事務を計画的に実行に移されておられます。大要を申し上げます。

さらに患者の声も

威風凛々たる西能の院内新聞を見る思いがしました。立派なものです。

ねんりん 西能病院のあゆみ

昭和三十一年十月、西能正一郎(当時、農協川州院整形外科院長)は、開業...



整形外科 西能病院

危険なものに貸さない

親子で涙のコップ酒 林敬彦さん(現、医療法人西能理事長)は、開業する...

一本でやりなさい

諸富教授の明快な指針 西能院長は、よくよく春が動きはじめた。

「ざばり直言」

私は昭和三十年から、三十五年頃まで秋田県厚生部長をやっていたが、その頃から、県立中央病院...

開けた道

「人間、素直な心が一番大切だ」とおっしゃる。貧乏望も砂上の楼閣にすぎない。

ギックリ腰でんまつ記

ある晴れた午後、いつになく決闘のベースで、ボギーをくり返しながら、私は東門の茶屋にやってきました。

奇妙な恩返し

インキンの野郎の執念 だが、インキン野郎が昔の西能正一郎博士だった。そして、インキン野郎が昔の西能正一郎博士だった。

ある晴れた午後、いつになく決闘のベースで、ボギーをくり返しながら、私は東門の茶屋にやってきました。

ギックリ腰でんまつ記

ある晴れた午後、いつになく決闘のベースで、ボギーをくり返しながら、私は東門の茶屋にやってきました。

奇妙な恩返し

インキンの野郎の執念 だが、インキン野郎が昔の西能正一郎博士だった。そして、インキン野郎が昔の西能正一郎博士だった。

一本でやりなさい

諸富教授の明快な指針 西能院長は、よくよく春が動きはじめた。喜びの中で永い闘いをつづける。

「ざばり直言」

私は昭和三十年から、三十五年頃まで秋田県厚生部長をやっていたが、その頃から、県立中央病院...

「五省会ニュース」に寄せる

西能病院は、三月二十一日、開院十九周年を迎えます。病院のあゆみは「ねんりん」で、詳細に連載してまいりました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

美しいものが 見えてきた

〈第三信〉

松下英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

お褒りございませんか。今日は、作業療法についてペンをとりました。

自分たち「みすず荘」取荘者は、職員とも一体になりハシを袋詰めにする作業に八月の下旬から頑張ってきました。午後一時三十分から同三時三十分までのやく二時間ですが、皆よくやりました。

ある精神薄弱者の人は、完成したハシを集め、訓練棟より会議室のテーブルまで一生懸命運びます。彼は、あたかも、それが天職であるかの如く、ひたすら運びます。リユーマチで体の硬直した人は、つまようじがつかまえませんのでハシだけ袋に入れます。少し指の動く人は、ストレッチャーに乗ってようじを入れます。脳性小児マヒの人は寝ころんで作業します。各自が誰れに教わるわけでもないのに残存機能をフルに活かしています。私は袋のフタにノリをはる仕事で三ヶ月を経た今、各自の作業の分担が自然にできあがりました。

その収益金といえますか、利益というか、各人に二ヶ月分が配分されました。皆、嬉

病院の周囲に、そとと植えて……

ハシの袋詰め得たユリの球根

院長、別便にてユリの球根四個お送りしました。(それは受傷して以来、当荘の協力にて初めて得たお金です。寮母長と、自分の病院の人たちに、如何に世話になったかなど色々話した結果、金額は僅かですが、皆さん喜んで貰えるものというこ

とになりました。寮母長は自然草花を愛する人です。それなら花のタネということになり、ユリの球根を買って小包にし

て送ってくれました。病院の周囲の花壇にでも、そとと植えて貰えませんか。

こんど、また何か月後かにお金を配分して頂くときは、当荘のハシ作業にもでられず、寝たきりの方たちに、黙ってアメか何かほんの一つでも二つでも食べて貰えればと、作業に精をだします。偽善かも知れませんが、ささやかな楽しみを持って一日一日暮らして行きます。

自分は恵まれてます。何不自由なく、生活できる喜び……。院長、ありがとうございました。またお便りします。返事はいたしません。こうして便りを

(岡山県津山市瓜生原362の1
社会福祉法人、重度身障施設
みすず荘13号室から)

天狗のお面の前で仲むつまじい安倍さん夫婦



大地を踏む

③

富山市東丸九富
天狗寿司店主
安倍 隆さん(三三)

「あれから、人生を変えた交通事故から、もう十三年もたったか。左足切断。義足一歩一歩店員一独立一結婚そして、いま三人の女の子の父となった。

幸せだ。これもみんな、病院の皆さんや周囲の方のおかげだ。妻も、よくやってくれている。それにしても、おれは不自由な義足のハンディを克服して白球を取り戻したのだ。これからは頑張ろう。」

安倍さんが交通事故にあったのは昭和四十二年十月十九歳のときだった。富山

義足のエース

市五福地内でバイクを運転中、乗用車にはねられた。西能病院に入院、左下腿骨を切断して四十五年三月まで治療をつづけた。

この間、切断した足を手てたいたたり、砂袋にぶつ付けてからは松葉杖でまっすぐに歩く訓練を繰り返して来た。中学時代から野球で鍛えた根性の持ち主は、自立心が旺盛だ。みるみるうちに一人歩きできるようになった。

安倍さんは述懐する。「入院中も、患者さんにも若い人たちがたくさんいたからです。散歩にでかけたさいに、よくバチンコをやりました。立ちつづけの運動になり、気ばらしにもなりました。それで、立っていののが苦痛でなくなりまし

よみがえった白球

西能病院が縁結び

退院したあと、新湊市善光寺の「浪花すし」に修業のため住みこんだ。立ちこん棒は苦にならなかつた。嬉しかったのは「浪花ゲソウ」の一員に加えてもらったことだ。義足のエースとして北日本朝野球に登場、その活躍ぶりが北日本新聞に報道された。

昭和四十八年九月に独立して今の店を開いた。早速、ソフトボールと軟式野球の「天狗チーム」をつくった。お客さんや友人をして呉羽

「見た目は悪いけど、病入らしくない明るく、たくましい人でした。ときにはじょう談も飛びだしました。そんな、がまん強いところにはひかれました。(和子さんの話)」

いい旦那さんだ。いい奥さんだ。

医療法人 西能病院の診療体制

急患受付時間

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車(2台)は、要請により出動致します。

一般受付時間 (日曜・祭日は休診)

診療科目	午前	午後
整形外科	毎日 8:30~12:00	月・水・木・土 (火・金は休診) 16:00~19:00
リハビリテーション科	毎日 8:30~12:00	月・水・木・土 13:30~19:00 火・金 13:30~17:00
内科	火・金・土 8:30~12:00	
形成外科	毎月1回 8:30~12:00	(診察日は受付でおたずねください。)

◆医療コンサルタント (毎週土曜14:00~16:00)

新たに医療相談日を設けました。(院長、又は副院長が相談にあたります) 整形外科の病気はもちろん、関連ある色々な病気について治療・予防のためのアドバイスをお致します。又ご希望があれば専門の医師への紹介も致します。お気軽にご利用下さい。事前に、受付に時間予約をして下さい。(TELでも可)

◆メディカル・ソーシャルケースワーク (毎日8:30~17:00)

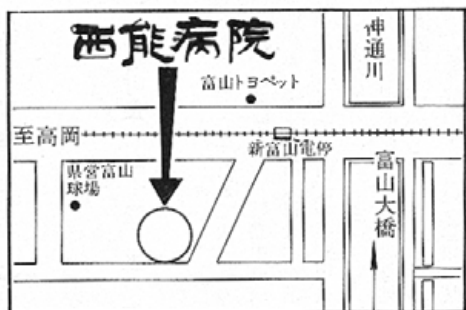
医療費や入院などにかかる経済問題・退院後の生活設計など、病気以外の心配事や悩みに専門のケースワーカーが親身になってご相談に応じます。(秘密厳守) ご遠慮なく、受付や看護婦に申し出て下さい。

◆栄養指導 (毎週土曜13:30より)

現代病といわれている肥満・糖尿病・その他の病気にたいして、専門の栄養士が理想的な食生活を指導致します。受付にお申込下さい。

◆重病患者さんの送迎について

重症のため、一般の車で搬送できない患者さんには、入退院にあたって、病院の患者運搬車をご利用いただけます。受付に申し出下さい。



《交通機関》市内電車………新富山電停下車・徒歩2分
 地鉄バス………新富山停留所下車・徒歩2分
 通院バス(順路)……西能病院→富山大橋→丸の内→新富町→富山駅→桜橋通り→西町→旅籠町→丸の内→富山大橋→西能病院
 (♀は通院バス常時停留所、その他臨時停車します。)